

土壌の保水力と保肥力を高め干ばつ被害軽減効果がある

# グルタミン

有機 100%(有機農産物 JAS 規格別表等適合資材  
ではありません。)



デコポン



シナノスイート

## ◆成分:

サトウキビから製した糖蜜に枯草菌(納豆菌)を接種・発酵させた微生物資材。納豆菌が産生する18種類のアミノ酸とPGA(ガンマポリグルタミン酸)を含有する資材。

## ◆特長:

本材は納豆菌発酵物質であるため、動植物に無害な有機微生物資材です。

γPGAには土壌の粒子と粒子を結び付け(架橋し)、団粒構造化する働きがあるため保水力がよくなり保肥力が高まります。

## ◆効能:

- ▶ γPGAには土壌の保水性を高める働きがあるため育苗期間中に灌水を忘れても、あるいは灌水が多少遅れても直ちに枯れ上がることがないので、安心して管理できます。
- ▶ 保水性がよいため移植時の植え傷みが無くなります。
- ▶ 本材には保水力・保肥力があるため漏水田にも適した資材です。
- ▶ 本材には保水力があるため干ばつの年でも干ばつの被害が出難くなります。
- ▶ 本材には保肥力を高める働きがあるため肥効が持続します。それ故、施肥量を減らすことが出来ます。
- ▶ 干ばつに起因する乳白米、胴割れ、青米の発生が減ります。
- ▶ 本材の施用によって食味がよくなり増収します。
- ▶ 免疫機構が高まるため、病気に罹り難くなります。



ロイヤル インダストリーズ株式会社

〒201-0003 東京都狛江市和泉本町一丁目 15-19  
TEL 03-3489-1408 FAX 03-3489-9308

# グルタンの使用方法

（グルタン使用時に 葉蒸エキス 「ケルパック 66」及び液肥の加用をお勧めします。）

## ◆使用目的・使用量・使用方法：

作物名	使用時期と使用目的	希釈液の作り方と使用方法
水稲	<p>＜育苗期処理＞ （播種前又は播種直後）</p> <p>健苗育成に。 PGAには土壌の保水性を高める働きがあるため、育苗期間中に灌水を忘れても、あるいは灌水が多少遅れても直ちに枯れ上がることはないので、安心して管理できます。</p>	<p>＜希釈液の作り方＞</p> <p>水 50ℓにグルタン原液 2ml + ケルパック 1ml の割合で 水 5ℓ                      <u>グルタン</u>                      <u>ケルパック</u> 加用し、出来た希釈液を マット 1 枚 (30cm × 60cm) 当たり 10 灌水する。 20ℓ                      8ml                      4ml 100ℓ                      40ml                      20ml</p>
	<p>＜本田処理＞ （田植え直後の入水時に）</p> <p>保水力・保肥力の維持、 干ばつ被害の軽減、 肥料の流亡防止、減肥目的に。 免疫・耐病性の賦与、 品質向上・増収目的に。</p>	<p>グルタン原液 1.5ℓ / 10a + ケルパック原液 300～400ml / 10a の 混合液を液肥と一緒に水口から流し込む。 又は本混合液 1.8～1.9ℓ / 10a と液肥を 20～30ℓの水ですすめ、 ジョウロかヒシヤクで畦畔から 0.5～1m 先に散布する。</p>
葉菜類	<p>＜育苗期＞ （播種前又は播種直後）</p> <p>健苗育成に。 保水力があるため、 定期灌水忘れ・遅れによる 苗の‘しおれ’防止に有効です。 免疫・耐病性の賦与。</p>	<p>＜希釈液の作り方＞</p> <p>水 50ℓにグルタン原液 2ml + ケルパック 1ml の割合で                      水                      <u>グルタン</u>                      <u>ケルパック</u> 加用し、出来た希釈液を 育苗床（ポット育苗箱も含 む。）に 1 m<sup>2</sup>当たり 4～5ℓ                      20ℓ                      8ml                      4ml 100ℓ                      40ml                      20ml 灌水する。</p>
根菜類	<p>＜移植時＞ 植え傷み防止 萎凋防止に。</p>	<p>ポットに 500 倍液を灌水してから定植する。又は、移植してから 株元へ 500～1000 倍液を灌水する。</p>
果菜類	<p>＜本畑及び果樹園処理＞ （初期生育時の土壌処理）</p> <p>保水能力の維持・干ばつ被害の 軽減、肥料の流亡防止・施肥量 の軽減目的に。免疫・耐病性の 賦与、増収目的に。</p>	<p>土壌灌水する場合：降雨前又は雨中にグルタン原液 3～5ℓ / 10a を 200～300 倍にうすめ、株元又は全面に灌水する。 その場合、効果を高めるためにケルパック原液 500～1000ml / 10a の加用をお勧めする。処理は1回でよいが、効果不足のとき は再度処理する。</p>
花卉類	<p>（初期生育期から収穫期までの 葉面散布）</p> <p>生育促進、免疫・耐病性の賦与、 増収目的に。</p>	<p>葉面散布する場合：葉根菜・果菜には 500～1000 倍液を 1～2 週 おきに数回散布する。 果樹には 500 倍液を 1 ヶ月おきに 3～5 回散布する。</p>
いも類		
豆類		
果樹一般		

◆包装規格：100ml ポリ容器 × 10 本入り / 小箱 × 3 小箱 / ケース                      10ℓポリ容器 × 15 本入り / ケース

100 エーステナー容器入り

180 エーステナー容器入り